



永井通信

☆第5号☆

株式会社東海保険 TEL 0564-27-2533 携帯 080-6903-3880

いつもお世話になっております！東海保険の永井教盟です。お変わりありませんか？今回は『経済』の話です。こういう話題はなじみがない方もいるかもしれませんが、生活するうえで切っても切れないお金の話ですから知っておいて損は有りません。

物価と為替

デフレはTVでもよく出てくる用語なのでご存知の方も多いと思います。物の値段が下がりお金の価値が上がる現象です。日本では最近まで20年近くデフレの状態でした。

一方、アメリカでは逆に物価の上昇が続いていました。この日本の物価下落とアメリカの物価上昇を為替とリンクさせると、面白いことがわかってきます。1995年当時、円高が進み一時1ドル79円を付けました。そして記憶に新しい2012年も一時1ドル76円ほどまで円高が進みました。

同じ1ドル79円という相場でも、17年経ち、物価の上昇が起こっているアメリカでは同じものが購入が出来ません。逆に、同じ1ドル79円という相場でも輸出企業の利益という視点でみると95年当時の1ドル79円よりも2012年の方が利益が圧迫されにくい状況でありました。

固定相場制と変動相場制

日本は変動相場なので常に為替が変動しています。固定相場を使っていると金庫にある資産以上に自国通貨が刷れなくなります。アルゼンチンではインフレを抑えるために91年に採用されました。インフレ対策に効果はあったものの、その後アメリカのドル高の影響を受け、輸出主導の経済だったアルゼンチンでは大打撃を受けました。それでも続け、ついに01年にデフォルトを起こしてしまいました。08年ごろから危機のギリシャではユーロを使っています。ユーロ自体は他の通貨とは変動相場ですが、ユーロ圏内の立場でいうとギリシャは固定相場になっていました。通常、国の力が落ちればその国の通貨は下落し、通貨が安くなれば海外からの観光客は増える。観光資源の豊富だったギリシャはここ100年ほどこのメカニズムによって財政赤字と財政黒字を交互に繰り返しながら破綻を免れていました。ギリシャのユーロ加盟はその自律回復機能を奪ってしまっていたのです。

※本通信を今後要らない方は、お手数ですが私までお申し付けください。よろしくお願いいたします。

ホームページをリニューアルしました。バックナンバーも公開中！ ⇒ 『東海保険』で検索



◆お勧めの一冊◆



誰も教えてくれないお金の話

著者:うだひろえ 監修:泉正人
定価(本体1300円+税)

こんな本を待っていました！お金の事、特に家計の事についての本ですが、全編漫画ですごく読みやすいものでした。章ごとに詳しい解説もついているので漫画で興味が湧いた所を解説でおさらいし理解を深める事が出来ます。できれば社会人になるくらいの時期に一度、読んでおきたかった本です。

特におすすめしたい方

- ・新婚で家計について興味が湧きだした方
- ・社会人になりお金(家計)についての基本を知りたい方
- ・家計の考え方について目安が欲しい方

contents

『お金のない不安』、『家計簿って必要なの』、『間違った節約』、『貯蓄が増えるお金の考え方』、『間違いだらけの住宅購入』、『保険で安心は買える?』、『ぴったりサイズの保険選び』、『誰のための老後?』、『親になるといふこと』、『お金よりもたいせつなもの』etc

発行者プロフィール

名前 : 永井 教盟 (ながい のりちか)
 誕生日 : 昭和54年12月23日 出身地 : 幡豆
 趣味 : 読書(最近メンタリストDaiGoが面白い!)
 経歴 : 2008年12月、保険業界へ転職
 資格 : 生保協会認定FP LCQS協会認定証券診断士
 : 相続診断士 住宅ローンアドバイザー

生命保険かけこみ相談室(080-6903-3880)

- 介護期間は平均どのくらい?金額は?
- 先進国でがん患者が増え続ける理由とは。
- 株式は何%持っているとお金安全なんだっけ?(株主総会対策)
- 退職金支給が事業承継に役立つ2つの理由
- 銀行窓口で保険加入した方のトラブル事例。

そのお悩み解決できます! p(^ ^)q